



地震・津波から身を守るために

～災害に備えよう～

平成23年3月11日14時46分、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の地震「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」が発生しました。この地震によって東北地方から関東地方にかけての太平洋沿岸を巨大な津波が襲い、未曾有の災害「東日本大震災」が引き起こされました。

この地震から11年になりました。皆さんはあの日の出来事に何を思い、教訓として今後どのように活かそうと思えますか。大きな災害に直面した時、自分ならどのような行動ができるのか、普段から何に備えなければならないのか考えてみましょう。

◇その家具の置き方、大丈夫？

過去の大地震の際、家具の下敷きになって亡くられる方が多くいました。家具は転倒しないよう壁に固定しましょう！

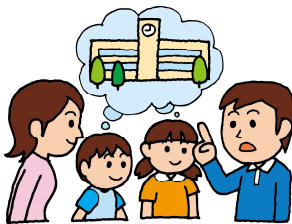


◇食料・飲料水など蓄えていますか？

大地震の際には、電気やガス、水道が止まることがあります。普段から飲料水や長期間保存の効く食料を蓄えておきましょう。小さいお子さんがいるご家庭ではミルク、紙おむつほ乳びんなども用意しておきましょう。

◇非常用バッグの準備、できていますか？

非常時に持ち出すべきものをあらかじめリュックサックに詰めておきましょう。（飲料水、救急用品、軍手、懐中電灯、衣類、毛布、携帯ラジオ、電池、など）



◇家族の安否確認方法、決めていますか？

災害時には普段使っている携帯電話がつながりにくくなります。災害用伝言ダイヤル(171)といったサービスを利用しお互いの安否を確認できるようにしておきましょう。集合場所を事前に話し合っておくというのもいいですね。

◇避難場所や避難経路、確認していますか？

いざ災害が起きた時、あわてずに落ち着いて避難できるような場所にどのように行動すればいいか一度、家族と話し合ってみましょう。



宮古島地方気象台

検索

宮古島地方気象台ホームページ
<https://www.jma-net.go.jp/miyako/>



お問い合わせ先：宮古島地方気象台 TEL:0980-72-3054(平日のみ/8:30~17:15)